

I 個別最適な学び

一体的な充実

II 協働的な学び

(1) 概要

○指導の個別化

- ・支援を必要とする子に対する、より重点的な指導
- ・子どもの特性や学習進度等に応じた指導方法・教材等の柔軟な提供・設定

○学習の個性化

- ・子ども一人一人の興味・関心等に応じた学習活動や課題に取り組む機会の提供



(2) 実現に向けたポイント

- ①子どもの成長、つまずき、悩みなどへの理解
- ②個々の興味・関心・意欲等を踏まえたきめ細かな指導・支援
- ③子どもが自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を調整できるように促すこと
- ④ICTの活用（学習履歴や生徒指導のデータ、健康診断情報、教師の負担軽減）

参考資料 中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して
～全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現～」令和3年1月

(3) 本市の現状

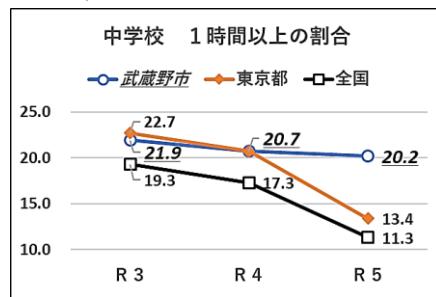
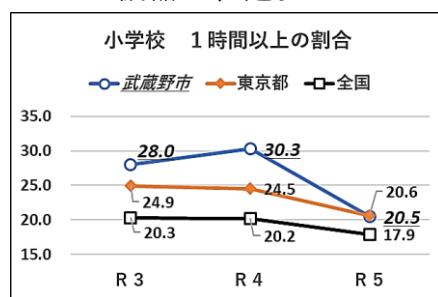
①先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか

		R5			
		当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
小学校	武蔵野市	50.4	36.5	10.5	2.4
	東京都	54.9	34.9	7.5	2.6
	全国	60.9	32.1	5.4	1.6
中学校	武蔵野市	32.0	53.0	10.5	3.2
	東京都	40.4	47.1	10.0	2.1
	全国	43.7	45.2	8.9	1.8

②学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

		R5			
		当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
小学校	武蔵野市	35.0	43.5	17.8	3.6
	東京都	31.8	44.0	18.8	5.2
	全国	31.0	46.4	18.3	4.3
中学校	武蔵野市	20.0	54.3	19.6	3.9
	東京都	23.8	46.7	23.3	5.6
	全国	23.1	46.1	24.4	5.7

③学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか



全国学力学習状況調査 児童・生徒質問紙の結果の推移より

(1) 概要

○探究的な学習や体験活動等を通じた子ども同士や多様な他者との協働を通して、他者の尊重や、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることのできるよう、必要な資質・能力を育成する。

○集団に個が埋没することがないように、一人一人のよい点や可能性を生かし、異なる考え方を組み合わせ、よりよい学びを生み出す。



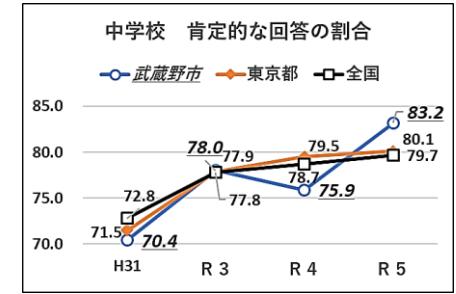
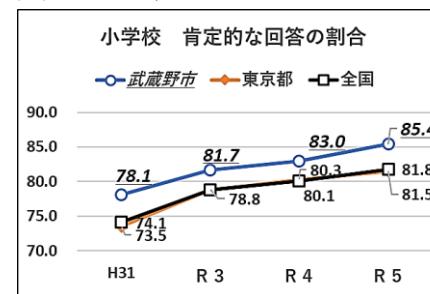
(2) 実現に向けたポイント

- ①教師と子ども、子ども同士、実習・実験、地域社会での体験活動など、様々な場面でのリアルな体験を通じた学び
- ②同一学年・学級をはじめ、異学年間の学び、ICT活用による空間的・時間的制約を超えた他の学校の子ども等との学び合い

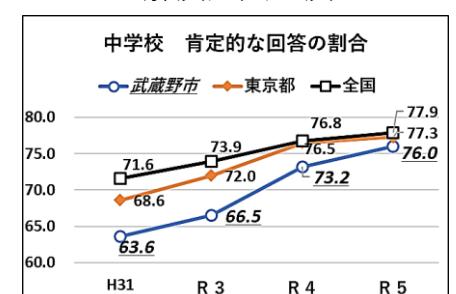
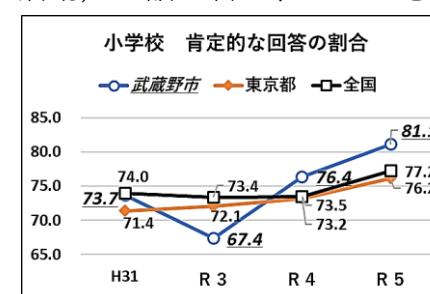
参考資料 中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して
～全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現～」令和3年1月

(3) 本市の現状

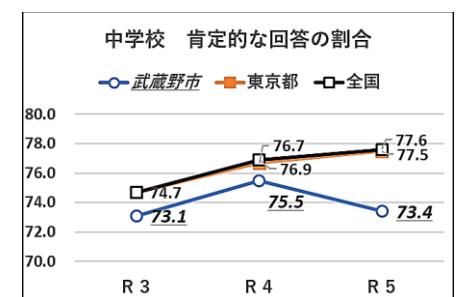
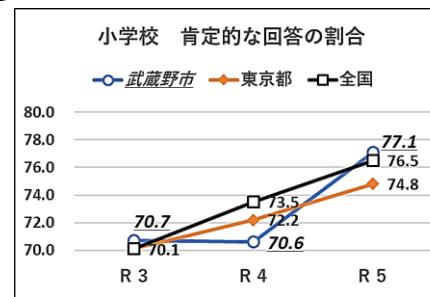
①学級の児童・生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



②あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会（中学校は学級活動）で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



③自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか



全国学力学習状況調査 児童・生徒質問紙の結果の推移より (%)

Ⅲ 学校・家庭・地域の協働

(1) 概要

- 学校・家庭・地域それぞれの課題は多様性だが「子どもの豊かな学び・育ちを支える」という思いは同じである。
- 現行の開かれた学校づくり協議会を互いのベクトル合わせる場として強化する。

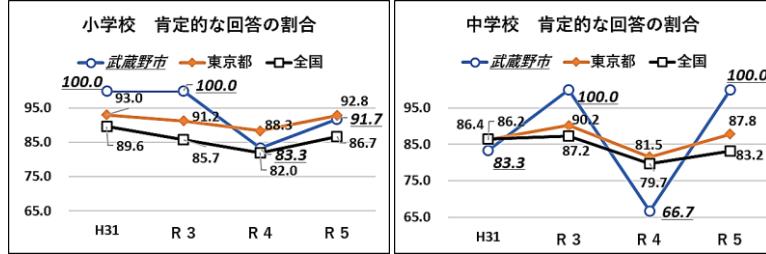
(2) ポイント（開かれた学校づくり協議会の機能の充実）

- ①学校・家庭・地域が目標を共有し、ベクトルを合わせて学校運営を協働する（学校運営の基本方針の承認、学校の特色にあった人材像に対する意見、P D C Aサイクル等）
- ②地域住民等との多様な参画をマネジメントし、地域学校協働活動を促進する（開かれた学校づくり協議会の活動提供、広報活動、地域の協力者を結ぶオンラインツール活用）
- ③学校のニーズと家庭・地域の強みを効果的につなぐ（地域コーディネーターの複数配置、ネットワークの広がり等）

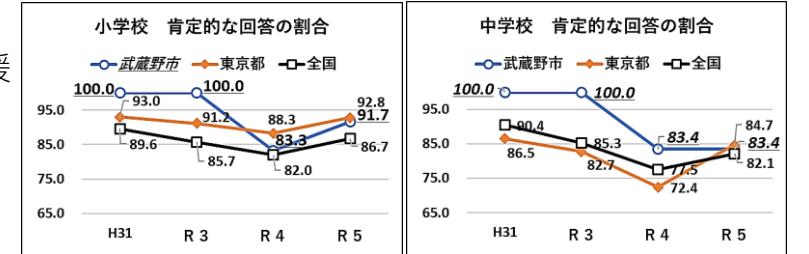
参考資料 武蔵野市学校・家庭・地域の協働体制検討委員会「武蔵野市学校・家庭・地域の協働体制検討委員会報告書」令和4年12月

(3) 本市の現状

①教育課程の趣旨について家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか



②保護者や地域の方が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか



全国学力学習状況調査 学校質問紙の結果の推移より

Ⅳ 本市としてのウェルビーイング(※)のあり方

※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念

(1) 概要

- 日本社会に根差したウェルビーイングの要素として**幸福感**（現在と将来、自分と周りの他者）、**学校や地域でのつながり、協働性、利他性、多様性への理解、サポートを受けられる環境、社会貢献意識、自己肯定感、自己実現**（達成感、キャリア意識など）、**心身の健康、安全・安心な環境**などが挙げられる。
- 多様な個人が幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるよう、教育を通じて日本社会に根差したウェルビーイングの向上が求められる。

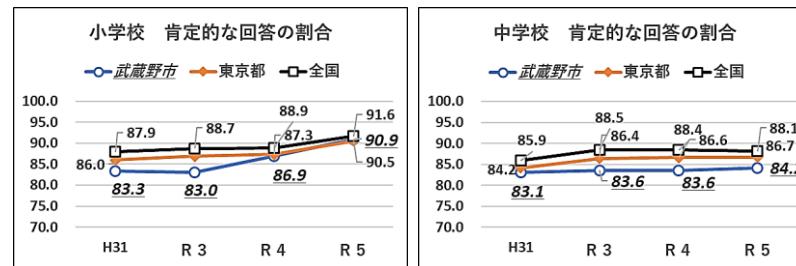
参考資料 文部科学省「新たな教育振興基本計画」令和5年6月

(2) 本市の現状

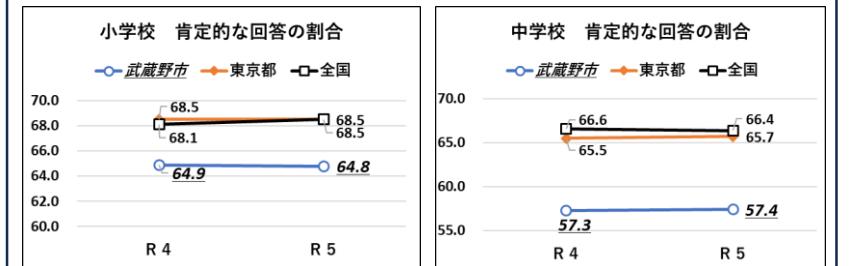
①友達関係に満足していますか

		R5			
		当てはまる	どちらかといえば、当てはまる	どちらかといえば、当てはまらない	当てはまらない
小学校	武蔵野市	59.5	27.7	9.1	3.5
	東京都	60.5	28.1	8.0	3.3
	全国	63.2	27.1	7.1	2.5
中学校	武蔵野市	53.8	33.5	7.4	2.0
	東京都	53.9	34.3	8.4	2.6
	全国	55.3	33.4	7.9	2.4

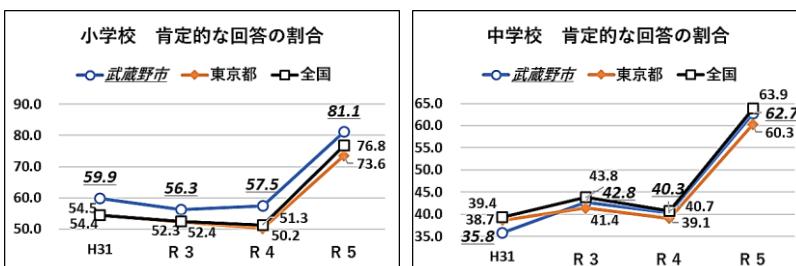
②人が困っているときは、進んで助けていますか



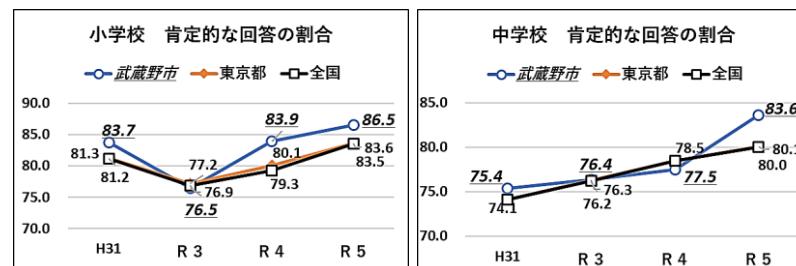
③困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人(※)にいつでも相談できますか



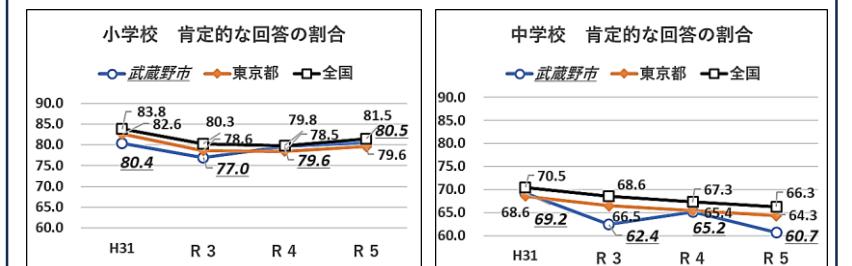
④地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



⑤自分には、よいところがあると思いますか



⑥将来の夢や目標を持っていますか



全国学力学習状況調査 児童・生徒質問紙の結果の推移より